

2023年7月18日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
Morgan Stanley

三菱 UFJ フィナンシャル・グループとモルガン・スタンレーのアライアンス戦略の深化 「アライアンス 2.0」について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG）と Morgan Stanley（会長兼 CEO James P. Gorman、以下 モルガン・スタンレー）は、両社のグローバルな戦略的提携関係を、次の 10 年とその先を見据えた「アライアンス 2.0」へと深化させてまいります。

MUFG とモルガン・スタンレーは、2008 年にグローバルな戦略的資本提携を開始して以降、15 年にわたる深い相互理解や信頼に基づき、グローバル投資銀行業務や日本における証券ジョイント・ベンチャー（以下 JV）2 社などの領域で協働し、両社のアライアンスならではの価値をお客さまに提供してきました。

今後、MUFG とモルガン・スタンレーはグローバルな戦略的提携をさらに強化いたします。「アライアンス 2.0」のコアとなるものは、お客さまに対する重要なビジネス領域での協働強化です。

「アライアンス 2.0」の一部として、両社は新たに 2 つの協働に関する基本合意書を締結しました。両社は、関係当局の承認を前提に、これらの協働に関する最終契約書を締結し、2024 年前半に業務を開始することを目指しております。

1. 外国為替のトレーディング業務における協働

近年、急速なオンライン化の進展や先進的な技術を持つ新たな市場参加者の台頭などに伴い、外国為替市場における競争が激化しております。グローバルな金融規制の導入やオペレーションおよびシステム開発の負荷が増大するなか、外国為替トレーディング業務を高度化する必要性が一段と高まってきています。グローバルプレイヤーは、顧客基盤の拡大・分散および大規模なシステム開発によるテクノロジー強化を通じて、特に、外国為替取引の取引量の拡大を強力に推進しています。

このような状況を踏まえ、株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}）とモルガン・スタンレーは、それぞれの強みを活かし、相互に補完するべく、モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社（代表取締役社長 田村 浩四郎^{たむら こうしろう}、以下 MSMS）を通じて、外国為替のトレーディング業務において協働を開始することに関する基本合意書を締結しました。具体的には三菱 UFJ 銀行が有する日本およびグローバルの事業法人などのお客さまを主とする取引関係と、モルガン・スタンレーが有するグローバルの機関投資家などのお客さまを主とする取引関係を組み合わせることで、本協働によってもたらされるスケールメリットを享受するとともに、お客さまにより良いサービスを提供します。

新たな協働では、三菱 UFJ 銀行は、MSMS を通じて世界をリードするモルガン・スタンレーの外国為替取引プラットフォームを活用することで、価格提供力の向上や、商品・サービスラインアップの拡充を図り、お客さまの高度化・多様化するニーズに的確・迅速に対応してまいります。なお、外国為替のセールス業務は引き続き各社が行うため、お客さまの担当窓口は従来通りとなります。

2. 機関投資家向け日本株ビジネスにおける協働

2010年5月に、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 ^{こばやし まこと} 小林 眞、以下MUMSS）およびMSMSがMUFGおよびモルガン・スタンレーの日本における証券JVとして発足して以降、両社はM&A助言や株式・債券の引受け、ウェルスマネジメントなどさまざまな領域で緊密に連携してまいりました。今般、新たな協働の一環として、MUMSSおよびMSMSは、両社の機関投資家向け日本株のセールス業務、コーポレートアクセス、執行業務の一部およびリサーチ業務をMSMSに機能統合します。また、日本株の引受業務についても、MUMSSおよびMSMSがモルガン・スタンレーのグローバルなプラットフォームを一層活用できるような体制へと最適化いたします。

MUMSSが有する広範な日本株カバレッジや国内のお客さまとのリレーションと、MSMSが有するグローバルな業務プラットフォームや海外のお客さまとのリレーションの融合を通じて、リサーチ・執行・コーポレートアクセス業務をリードしてお客さまの高度化・多様化する日本株ニーズに応え、本邦の株式ビジネスでトップクラスの証券会社を目指します。また、両社は、それぞれの代表者で構成される評議会を設置するとともに、当該業務に従事するMUMSSやMUFG子会社の職員をMSMSやモルガン・スタンレーのその他のグループ会社に派遣します。なお、事業法人・ウェルスマネジメント、一部の金融法人のお客さま向け日本株業務は、引き続きMUMSSがサービスを提供してまいります。

なお、本邦JV2社の更なる協働をお示しするため、MUFGは、今後両社の業績を2社合算で開示するようにします。JV一体での事業運営をさまざまな領域でさらに加速させ、本邦JV2社合算で国内トップの証券会社を目指してまいります。

【本件に関するMUFGとモルガン・スタンレーの共同ビデオ・メッセージ】

<https://youtu.be/l6sUpbAyN8A>

以 上

世界が進むチカラになる。



三菱UFJフィナンシャル・グループと モルガン・スタンレーの 戦略的提携について

2023年7月

MS/MUFGアライアンスの経緯(「アライアンス1.0」)①

- Morgan Stanley (MS) との提携は投資銀行業務における協働を中心に、WM¹や資産運用の領域にも拡大
- 両社トップマネジメント間の連携や人材交流等、提携発展に向けた取組みも継続

MS出資・提携の主要経緯

2008年

- グローバルな投資銀行業務の抜本的強化を目的として、MSに90億ドルを優先株にて出資

2009年

- 米州でコーポレートファイナンス業務を行う合弁会社LMJV²を設立

2010年

- 日本で三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)およびモルガン・スタンレーMUFG証券(MSMS)を設立

2011年

- 取締役派遣を2名に増員し、普通株転換

2015年頃

- WMや資産運用領域における協働が拡大

提携関係の発展に向けた継続的な取り組み

トップマネジメントを含む緊密な連携

グローバル・ステアリング・コミッティを年2回開催

- 両社CEOを含むシニアマネジメント陣が戦略的提携の更なる発展に向けて継続的に協議



MSの取締役2名をMUFGが指名³

人材交流(2010年～)

- MUFGからMSへの派遣者は累計80名超⁴
投資銀行やWM、リスク管理等様々な分野でMSの先進的なプラクティス、知見を吸収

アライアンス戦略の深化(「アライアンス 2.0」)

(注)1. ウェルスマネジメント 2. LMJV: Loan Marketing Joint Venture 3. 亀澤宏規、宮地正人 4. 23年6月末時点

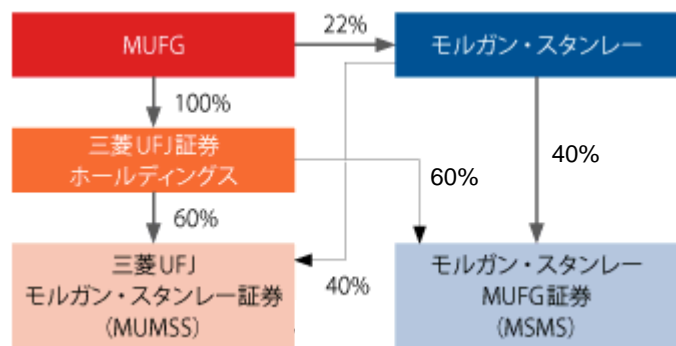
MS/MUFGアライアンスの経緯(「アライアンス1.0」)②

- 日本国内及びグローバルにおける投資銀行ビジネスでの協働から、WMや資産運用領域における協働に発展

投資銀行ビジネスにおける協働(日本)

- 日本では、MUMSSとMSMSが、MUFGの日本における顧客基盤と、M&Aや株式・債券の引受に関するモルガン・スタンレーのグローバルネットワークを活用し、お客さまの金融ニーズにお応え
- MUMSSではMSのノウハウを活かしたWMサービスも提供

日本における
出資関係¹



投資銀行ビジネスにおける協働(海外)

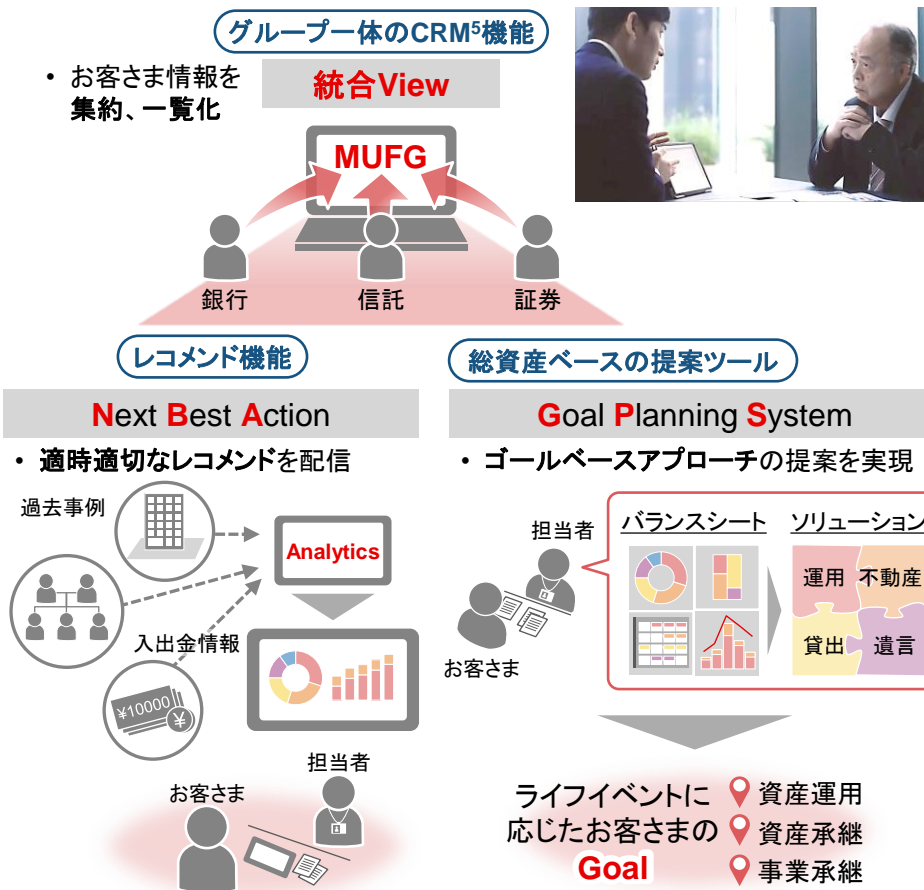
- LMJVを中心とした米州におけるイベントファイナンスでの協働に加え、グローバルにECMやM&Aでの協働を展開
- 米国におけるNon-IG領域での貸出・債券引受ビジネスや、アジアを中心にスタートアップ等のIPO連携も強化

資産運用における協働

- お客さまへのMSIM²との共同アプローチにより、MUTB³・MUKAM⁴が資産運用機能を提供する投信を設定

MUFG WMデジタルプラットフォーム

- MSのノウハウを活かし、MUFG WMデジタルプラットフォームを開発



(注) 1. MSMSの議決権比率はMUFG 49%:MS 51% 2. モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント 3. 三菱UFJ信託銀行 4. 三菱UFJ国際投信

「アライアンス2.0」-外国為替のトレーディング業務における協働①

- 三菱UFJ銀行 (MUBK) とMorgan Stanley (MS) は、お客さまにより良いサービスを提供するため、外国為替のトレーディング業務における協働を開始する

外国為替トレーディング業務における本協働の背景・環境認識



急速なオンライン化の進展や先進的な技術を持つ新たな市場参加者の台頭等に伴い、外国為替市場における競争が激化している



グローバルな金融規制の導入やオペレーションおよびシステム開発の負荷が増大するなか、外国為替トレーディング業務を高度化する必要性が一段と高まってきている



グローバルプレイヤーは、顧客基盤の拡大・分散および大規模なシステム開発によるテクノロジー強化を通じ、特に、外国為替取引の取引量の拡大を強力に推進している

このような状況を踏まえ、

お客さまへより良いサービスを提供

MUBK、MSの強みを活かし、相互に補完するべく、モルガン・スタンレーMUFG証券 (MSMS) を通じて、外国為替のトレーディング業務において協働を開始

MUFG 三菱UFJ銀行

- 日本およびグローバルの事業法人等のお客さまを主とする取引関係における強み
- 日本円/アジア通貨における強み



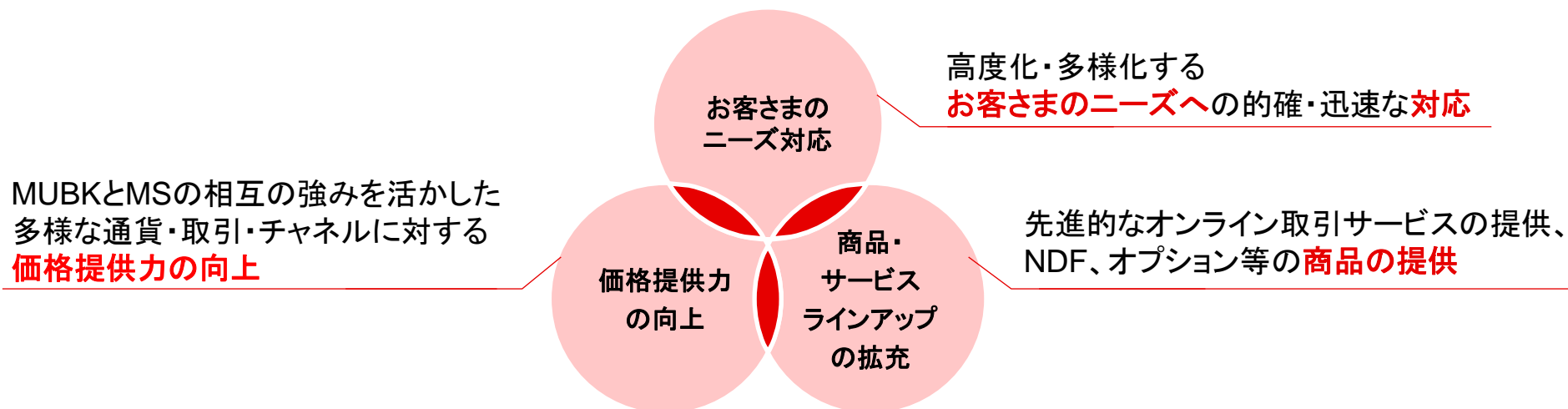
Morgan Stanley

- グローバルの機関投資家等のお客さまを主とする取引関係における強み
- 外国為替取引オンラインプラットフォームにおける強み

「アライアンス2.0」-外国為替のトレーディング業務における協働②

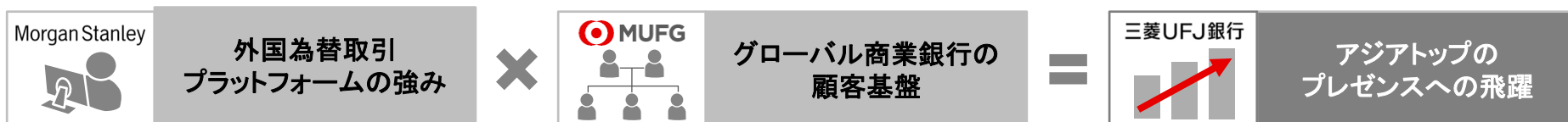
- MUBKは、MSMS を通じて世界をリードするモルガン・スタンレーの外国為替取引プラットフォームを活用することで、価格提供力の向上、商品・サービスラインアップの拡充を図り、お客さまの高度化・多様化するニーズに的確・迅速に対応する

目指すアスピレーション



1 MUBKとしてアジアトップのプレゼンスへの飛躍

MSの外国為替取引プラットフォームの強みと、MUBKのグローバル商業銀行の顧客基盤を掛け合わせ、MUBKとしてアジアトップのプレゼンスへの飛躍を目指す

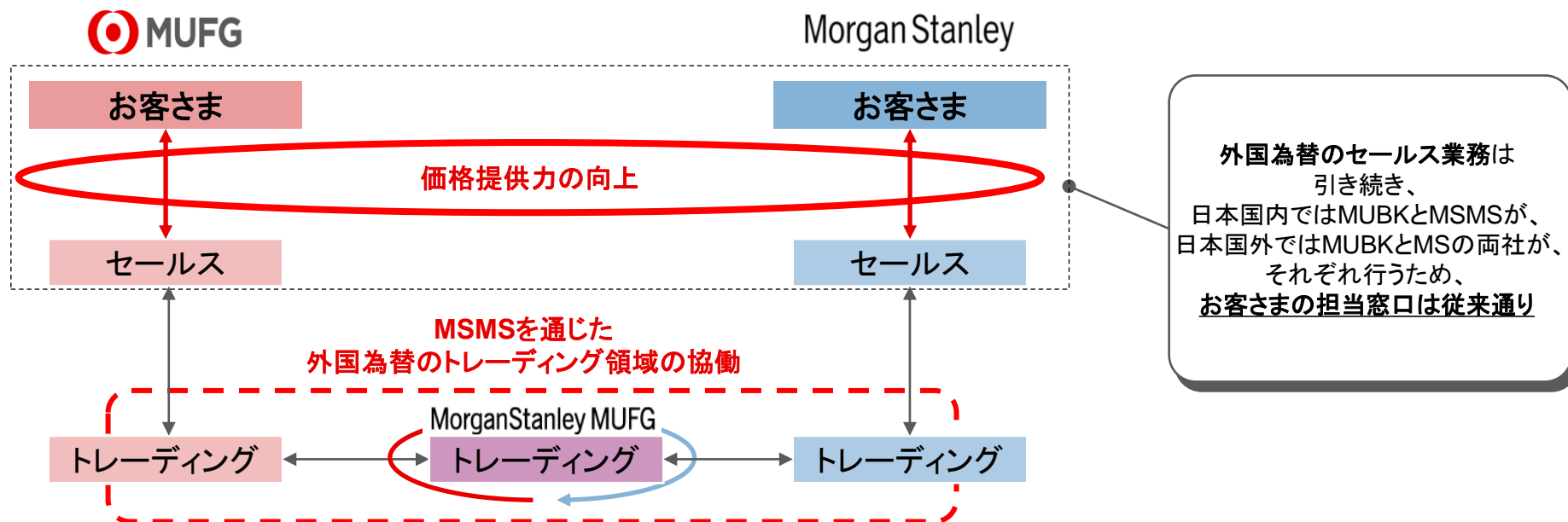


「アライアンス2.0」-外国為替のトレーディング業務における協働③

- 新たな協働では、MUBKは、MSMSを通じて世界をリードするモルガン・スタンレーの外国為替取引プラットフォームを活用し、価格提供力の向上や商品・サービスラインアップを拡充する
- なお、外国為替のセールス業務は引き続き各社が行うため、お客さまの担当窓口は従来通り

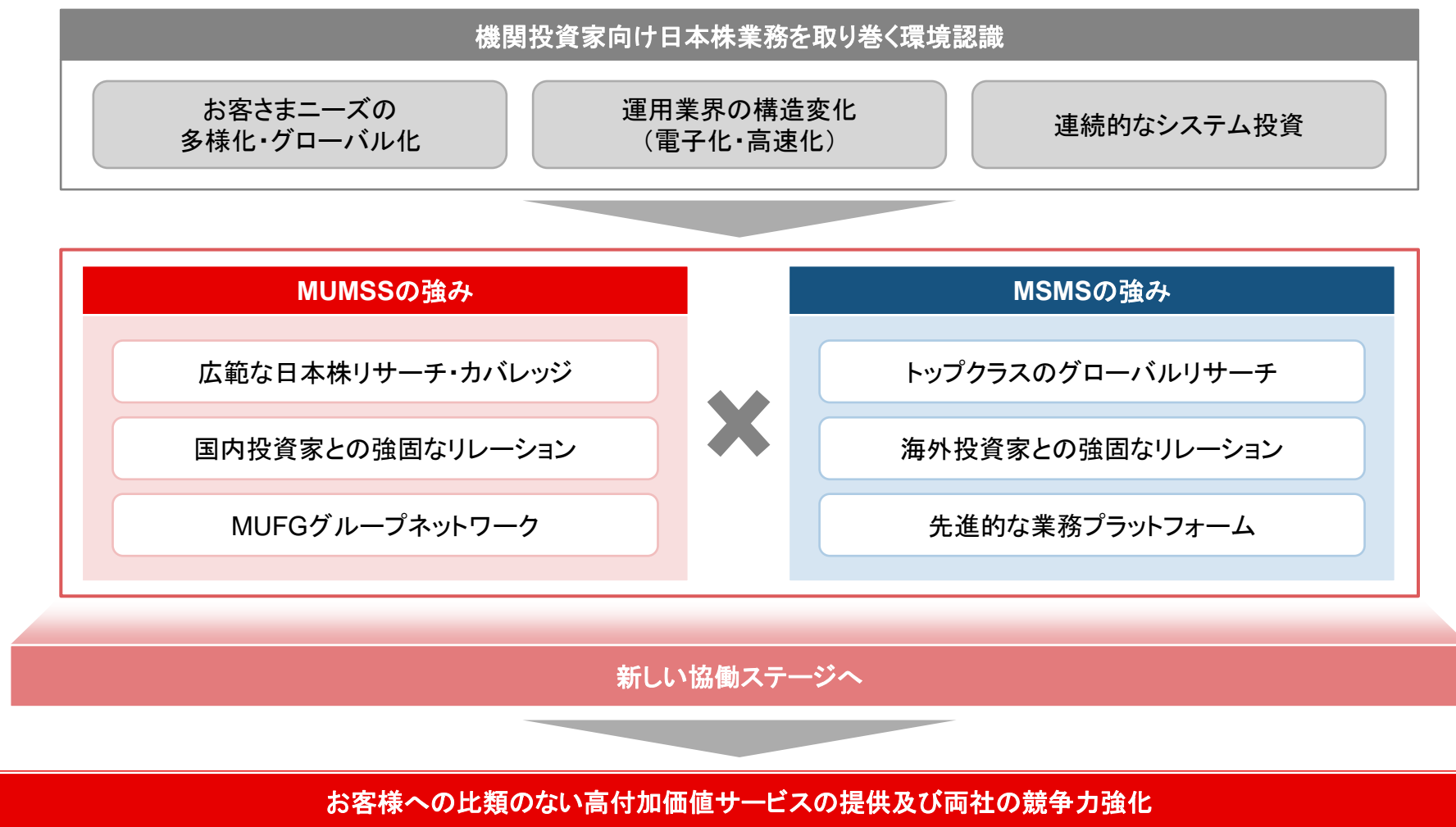
外国為替トレーディング業務における本協働の概要

外国為替協働のイメージ



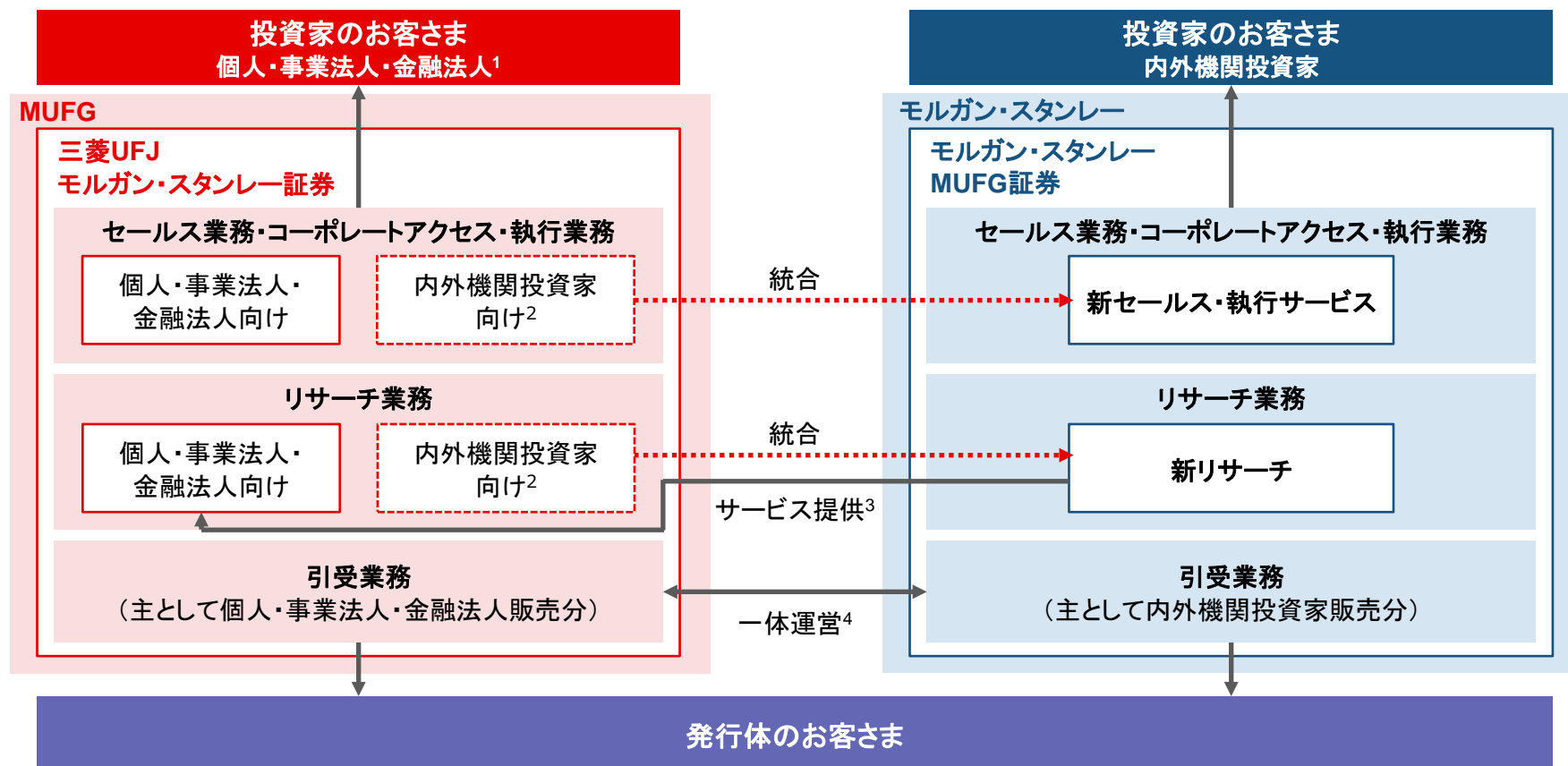
「アライアンス2.0」-機関投資家向け日本株ビジネスにおける協働①

- 機関投資家向け日本株業務において、MUFGとモルガン・スタンレーの夫々の強みを組み合わせた新しい協働関係を構築し、より良い顧客サービスの提供及び競争力強化を実現する



「アライアンス2.0」-機関投資家向け日本株ビジネスにおける協働②

- 機関投資家向けの日本株セールス業務、コーポレートアクセス、一部の執行サービス業務及びリサーチ業務を、三菱UFJモルガン・スタンレー証券から、モルガン・スタンレーMUFG証券へ統合する
- また、上記統合に伴い、モルガン・スタンレーMUFG証券が有するグローバルなプラットフォームをより活かせるよう、引受体制を変更する予定



(注)1 銀行・生損保(自己勘定向け)、地域金融機関等

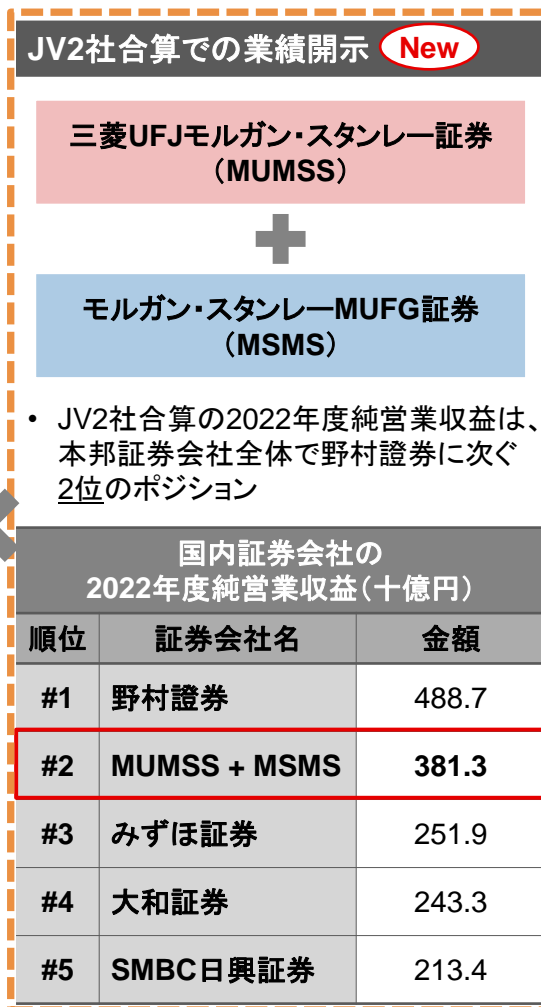
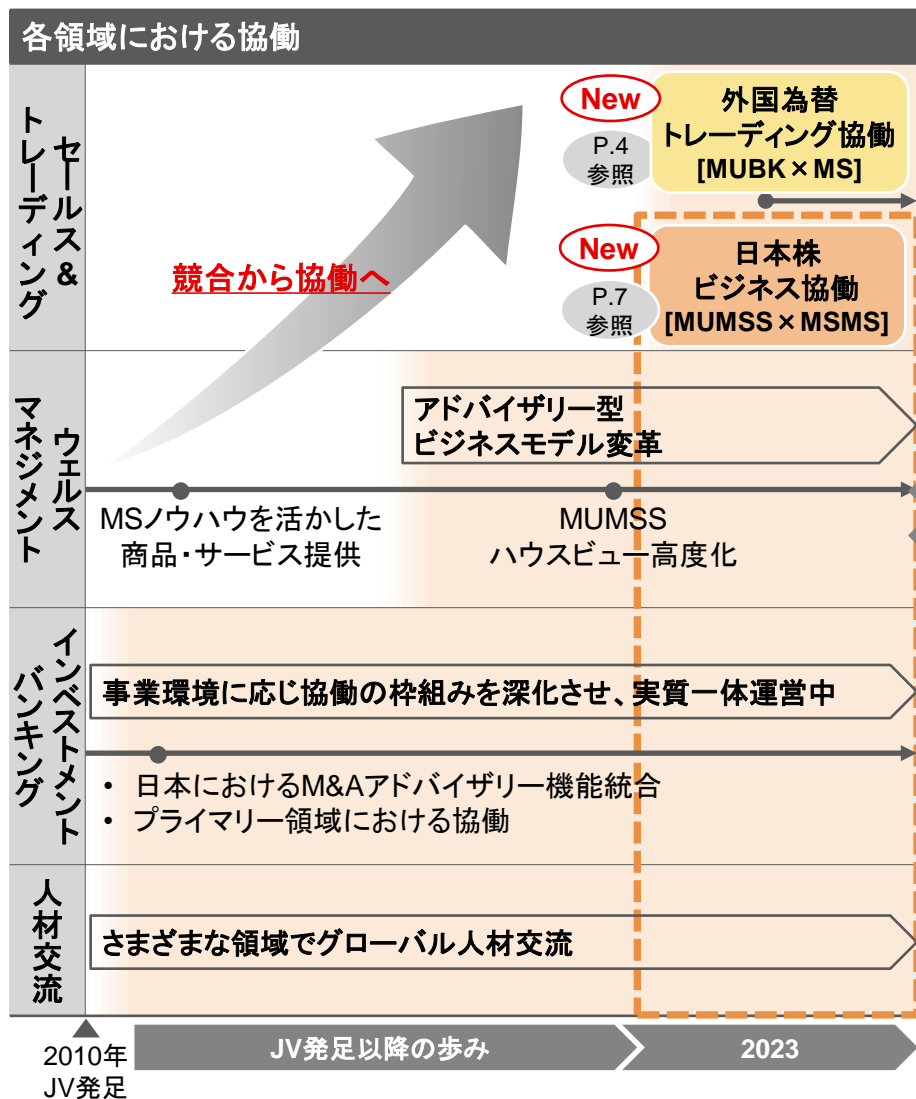
2 上記1を除く内外機関投資家

3 新リサーチによるサービスは、三菱UFJモルガン・スタンレー証券を通じて同社の個人・事業法人・金融法人※1のお客さまへ提供
なお、モルガン・スタンレーMUFG証券とお取引のある金融法人※1のお客さまは、同社からのサービス提供を継続

4 国内のみで販売する案件はMUMSS引受、MSMS販売委託で対応するケース有り

「アライアンス2.0」-機関投資家向け日本株ビジネスにおける協働③

- 本邦JV2社合算で、本邦トップの証券会社を目指す

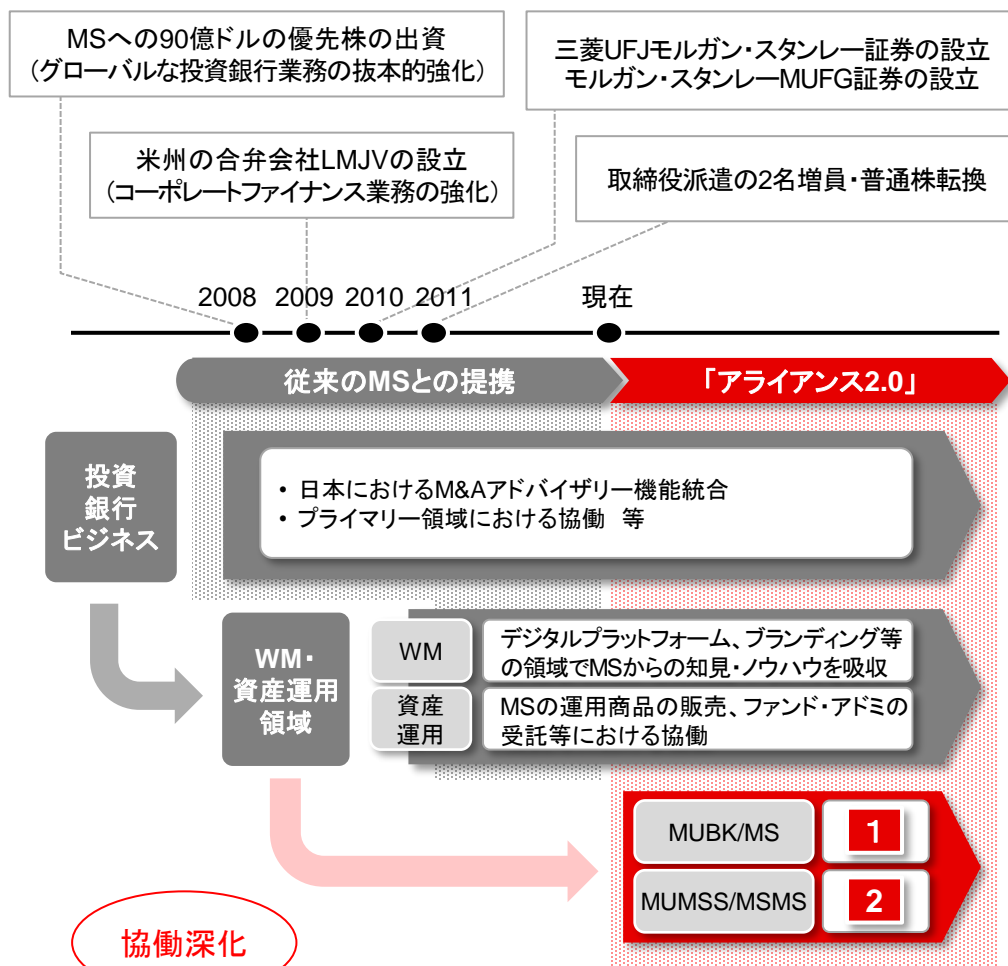


(出所) 各社資料

本邦トップの
証券会社へ

「アライアンス2.0」

－MUFGとMS間のアライアンス戦略の深化



外国為替のトレーディング業務
における協働



機関投資家向け
日本株ビジネスにおける協働

JV2社合算での業績開示